



今日からすぐに実践しよう リーダー向けお悩み相談室

動機付け理論を理解すれば、モチベーションの上げ方が分かる!

モチベーションとは、広い意味で「意欲・やる気」や「動機づけ」といった意味で使われています。このモチベーションを上げる方法を理解頂くために、ハーズバーグの理論をご紹介します。

■ハーズバーグの動機づけ・衛生理論

アメリカの臨床心理学者フレデリック・ハーズバーグが提唱した、仕事における満足と不満足を引き起こす要因に関する理論。人間が仕事に満足を感じる要因と不満足を感じる要因は全く別物であるとする考え方です。

①人間が仕事に満足を感じる要因 → 動機づけ要因

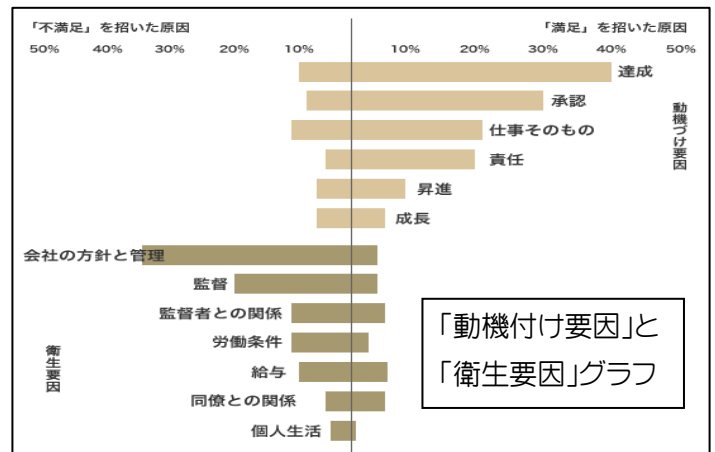
達成、承認、仕事そのもの、責任、昇進、成長など

②人間が仕事に不満を感じる要因 → 衛生要因

会社の方針と管理、監督、監督者との関係、労働条件、給与、同僚との関係、個人生活など

下図からみて分かるのは、不満要因(衛生要因)をいくら取り除いても、満足感を引き出すことにはつながらず、仕事の満足感を引き出すには、「動機づけ要因」にアプローチしないといけない、ということです。すなわち給与を上げて不満感も減少するが、満足感も上がらないということです。

自分も部下もモチベーションを上げるためには、「動機づけ要因」にアプローチすること、つまり達成感を感じることや相手に承認してもらうことがモチベーションアップにつながりやすいのです。(谷淵ゆきこ)



「動機付け要因」と「衛生要因」グラフ

女性活躍推進事業

パワーマッチング Vol.57

私たちパワーネットでは、イキイキと“働く”女性を支援し、「働きやすさ」と「働きがいのある」組織づくりで女性の活躍推進を実現します!

真の問題は何か? 「問題発見と解決力」

「未来塾クレッシェンド」1期生の最終回、テーマは「問題発見と解決力」でした。日々起こる「問題」。そもそも問題とは何でしょうか?

問題とは、目標(あるべき姿)と現状(できていない事)との「差」です。「あるべき姿」に対して現状が届いていないという現象です。

では、問題が起きた時、みなさんはどんな行動をとっていますか? 例えば、風邪を引いてしまった時、皆さんはどう解決しますか? 薬を飲んで治しますか? けれど、薬を飲むだけではその時の風邪は治ってもまた繰り返してしまうかもしれない。「風邪を引かないよう、生活改善をする」、これが本当の問題解決ではないでしょうか。

仕事においても同様です。ミスをした。「訂正する」だけ

では同じミスをします。その場しのぎの「対処」です。「ミスが起きない仕組みを作る」ことで、問題が「解決」します。

今までの行動はどうでしょうか? 上辺だけ、目に見える事象だけに注目して対策を取る「問題対処」になっていませんか?

「問題解決」とは真の原因をつかみ、抜本的な解決を図ることなのです。今回の研修では問題発生から解決するための7つのステップを学び、実際に自身が問題に感じていることを取り上げ解決策を導き出す演習を行いました。

私は、7つのステップにより真の問題に気づき、それを解決するために今できることも発見することができました。

6月からは「未来塾クレッシェンド」の第2期が始まります!この機会と一緒に学びませんか?

(青山 真由美)